

シラバス

授業科目	分子微生物学特論		
(英 文 名)	Clinical and Molecular Microbiology		
担当教員	福長将仁、田淵紀彦		
単位数(期別)	1(前)	対象学生	1・2MP

■授業のねらい・概要■

感染症の病原を理解し、適切な対応と薬物治療を行うことができるようになるために、病原微生物の感染経路、感染動態、病原体の同定、薬物治療の知識・技能・態度を修得する

■授業(学習)の到達目標■

- 1 病原微生物の分類ができる(知識)
- 2 主な病原微生物の感染経路を説明できる(知識)
- 3 遺伝子を対象として、病原微生物を同定する手法を実践できる(技能)
- 4 患者の免疫機構を説明できる(知識)
- 5 滅菌・消毒や感染予防を実践することができる(技能・態度)
- 6 治療薬を選択、薬効・副作用を説明した上で与薬することができる(知識・技能・態度)
- 7 化学療法剤の耐性について説明できる(知識・技能)
- 8 院内感染・日和見感染防止を実践することができる(知識・技能・態度)

■回数ごとの授業内容■

- 1 病原微生物学の分類と代表的な病原微生物の性状、感染経路(福長)
- 2 体液性免疫(田淵)
- 3 細胞性免疫(田淵)
- 4 微生物の同定(田淵)
- 5 滅菌と消毒の実践(田淵)
- 6 新興・再興感染症(福長)
- 7 院内感染と日和見感染(福長)
- 8 感染症の薬物治療(福長)

■成績評価の方法・基準■

パソコン演習、レポート提出、発表と討論を行い総合評価する。

■使用テキスト■

なし(必要に応じて資料を配付する)

■参 考 書■

細菌学、朝倉書店

化学療法の領域(医薬ジャーナル社)

感染症研究所感染症週報(HP)ほかWHOやCDCの感染症発生動向を随時とりあげながら授業をすすめる。